

“一番素敵”を紹介しよう — 教材文「きつねのおきゃくさま」 —

2年国語科 9月 10時間 附属新潟小学校 指導教諭 里村 穰

1 本単元で目指す姿

複数の言葉を関係付けて読み、きつねの一番素敵だと思ふ様子をとりえる子ども

具体的には、文脈に即したきつねの行動に関する言葉の意味に着目して、きつねの行動に関する言葉ときつねの様子とを関係付けて考えるという「見方・考え方」（以下、「言葉による見方・考え方」）を働かせ、きつねの行動の理由を想像する力（②思考力・判断力・表現力）等を発揮して、きつねの行動に関する複数の言葉を根拠にきつねの一番素敵だと思ふ様子をとりえる子ども。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

		「見方・考え方」		
国 語 科	○「言葉による見方・考え方」			
	1 言葉の意味に着目して、叙述と文章内容とを関係付けて考えること			
	2 文脈に即したきつねの行動に関する言葉の意味に着目して、きつねの行動に関する言葉ときつねの様子とを関係付けて考えること			
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
1	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能 ・文の中における主語と述語との関係	1 内容の大体（登場人物・あらすじ）をとらえる力 2 きつねの行動に関する言葉を基にきつねの行動の理由を想像する力  (学習の基盤となる「ツール活用能力」) ○ウエビングマップを使って、きつねの行動に関する言葉を収集、整理する力	1 内容の大体（登場人物・あらすじ）をとらえるために読もうとする態度 2 きつねの行動の理由を考えるために読もうとする態度  (学習の基盤となる「協働性」) ○きつねの行動に関する言葉の解釈を交流し、他者の考えを生かして課題解決する力	

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	☆資質・能力 ・予想される子どもの反応	評価する対象 ◎評価
一	1	○ 言語活動と「お話ポスター」の概要とを知り、教材文を音読する。	◆ 設定した言語活動、「お話ポスター」の形式を提示する。 ※提示後、教材文と出合わせ、読み聞かせたり音読させたりする。	・1年生に紹介するのだな。やりたいな。 ・「お話ポスター」が何かが分かった。つくりたいな。 ・上手に音読できるようにたくさん練習しよう。	
	2	○ 教材文を読んで物語の内容の大体をとらえ、「お話ポスター」の上段に登場人物とあらすじを書く。	◆ 登場人物とあらすじを問う。 ※登場人物ごとに色分けして傍線を引かせる。 ※「誰がどうするお話か」という観点を提示して、あらすじをまとめさせる。 ※「お話ポスター」の形式を配付する。	★国語科①-1, ②-1, ③-1	記述(ノート・「お話ポスター」)
	3		◆ 観点を提示して学習を振り返る場を設定する。	③登場人物とあらすじを確かめるために読もう。 ①きつねは、ひよこを家によんで、やさしく食べさせた。 ①ひよこは、あひるをきつねの家にさそった。 ①ひよことあひるは、うさぎをきつねの家にさそった。 ②きつねは、家に来たひよこ、あひる、うさぎを神様みたいに育て、ひよこ達を食べようとしたおおかみと戦った。	③読む目的を明確にしている。 ①登場人物が誰かをとらえている。 ②あらすじが何かをとらえている。
	4	○ きつねの一番素敵だと思ふ様子、その根拠を考える。	◆ きつねの一番素敵だと思ふ様子、その根拠とする言葉を問う。 ※「お話ポスター」下段の下書きとなるワークシートを配付する。	・きつねの一番素敵なところは、おおかみと勇敢に戦うところです。「じつに、じつに、いさましかったぜ」という言葉から、そう思いました。	
二	5	○ 選ばれた様子とその根拠とならない言葉との整合に疑問を感じ、問いをもつ。	◆ 選ばれた様子、その根拠となる言葉と根拠とならない言葉とを例示し、感じた疑問とその理由とを問う。【働き掛け1】 ※子どもの発言をまとめ、学習のめあて(学習課題)として、板書(◎として示す)する。	・どうして、その言葉なのかな。一番素敵なところが分からないのではないかな。  【学習のめあて(学習課題)】 ◎ きつねの一番素敵なところが分かる言葉はどれか。	
		○ 課題解決の見通しをもつ。	◆ 例示した根拠となる言葉を探り上げて根拠となる理由を問うた後、学習の進め方を問う。【働き掛け2】 ※理由をまとめ、きつねの行動に関する言葉ときつねの様子とが繋がっていることを学級全体で確認する。 ※子どもの発言をまとめて板書し、この学習の進め方でよいかを確認する。	★国語科③-2	発言・同意の挙手 ③読む目的を明確にしている。
	6 ・ 7	○ きつねの一番素敵な様子を紹介するために必要な言葉を収集、整理する。	◆ 個人で読む場を設定した後、観点を提示して分かったことを伝え合う場を設定する。【働き掛け3】 ※使いたいツールを確認、配付する。 ※子どもの発言を、整理して板書する。	★国語科②-2, 協働性, ツール活用能力	記述(ウエビングマップ), 発言
		○ 紹介するために必要な言葉を判断し、きつねの一番素敵な様子を紹介文に書き表す。	◆ 紹介するために必要な言葉を問い、紹介文を書く場を設定する。【働き掛け4】 ※ワークシートを配付し、選んだ言葉と選んだ理由とを記述させる。 ※ワークシートを配付し、書き方を説明する。 ・きつねの一番素敵だと思ふところ ・それは、どの言葉から思ったのか ・どうして、そう思ったのか	★国語科①-2	記述(ワークシート) ①共通の関係で言葉と言葉とを関係付けている。
	8	○ 発揮した様々な資質・能力を自覚する。	◆ ペア発表会、振り返りの場を設定した後、一番素敵だと思ふ様子をとりえることができた要因を問う。【働き掛け5】	★国語科①-2, ②-2, ③-2, ツール活用能力	記述(振り返りシート)
三	9	○ 「お話ポスター」を完成させ、紹介の練習をする。	◆ 「お話ポスター」を完成させる場を設定した後に、二人一組で紹介の練習をする場を設定する。	①きつねの一番素敵なところが分かる言葉をまとめることができた。 ②きつねが言ったりしたりした言葉から、どうしてきつねがそうしたのかを考えた。 ③きつねがどうしてそうしたのかを考えるために読んだ。 ・ウエビングマップを使って、言葉を集めたりつなげたりすることができた。	①②③, ツール活用能力 発揮した資質・能力を自覚している。
	10	○ 「きつねのおきゃくさま」を1年生に紹介する。	◆ 1年生との交流の場を設定する。	・「お話ポスター」が完成したぞ。 ・交替で、紹介の練習をしよう。  ・1年生が喜んで聞いてくれてうれしかったな。 ・また今度、1年生にお話を紹介してあげたいな。	

